



茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

日常の教育活動につきましては、学校ホームページをご覧ください。



<https://www.townhamanaka.jp/chan>

10月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	木	就学時検診(1~3年午前授業)
2	金	定時退勤日
3	土	(町民マラソン大会)
4	日	
5	月	
6	火	厚岸情報館見学(2年)タカナシ見学(5年)
7	水	みんなの広場
8	木	湿原学習(5年)縦割り班清掃
9	金	定時退勤日
10	土	
11	日	
12	月	視力再検査(1~3年)
13	火	視力再検査(4~6年)
14	水	午前授業(給食あり)※教職員研修のため
15	木	
16	金	児童委員会 定時退勤日
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	たてわり班清掃
23	金	クラブ 定時退勤日
24	土	
25	日	
26	月	いじめアンケート バス同乗指導
27	火	教育委員訪問 教育相談週間
28	水	学校便り発行
29	木	(茶中職場体験)
30	金	児童委員会 定時退勤日
31	土	

「知識を知恵にかえる力」

校長 飯屋崎 修

秋の涼しが増してきた茶内地区ですが、子どもたちは日常の教育活動に一生懸命取り組んでいます。学習はもちろんですが、休み時間はグラウンドへ出て遊具やサッカー、ドッチボールなど、友達と元気に遊んでいます。外遊びの啓発と子供たちの体力向上のため、指導部長の赤間先生を中心にマラソン週間を設定し、毎日体力づくりに取り組みました。中には、いつもより早く学校へ来て、グラウンドを走る姿もありました。歩道工事のため校地内で実施したマラソン記録会では、練習の成果と保護者の皆様の応援で、記録も心もぐっと向上しました。今後も安全第一で、子どもたちが毎日努力し積み上げてきた成果を保護者・地域の皆様にお伝えできるよう教育活動を進めてまいります。

さて、令和2年4月「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成すべき3つの柱が示され、社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育てるため、新学習指導要領がスタートしました。生き抜くために必要な資質・能力ってどうやって身につけさせたらよいのか、常に考える毎日です。

脚本家、倉本 聰の代表作『北の国から』が放送30年を迎えた時のインタビューの中で、こんなことを話していました。『文明は人間がエネルギーを消費しないで済む方向に進んでいる。例えばテレビのリモコンは、歩くエネルギーを惜しんだ結果の産物。しかも、それによって蓄積された余剰エネルギーを消費すべく、今度はお金を払ってジムに通い、重い物を持ち上げ、どこにも行き着かない自転車を漕ぐという本末転倒な世界に人ははまり込んでいる。『北の国から』は、その対極にある第一次生産者の世界。何かを生産するために必然的に体を動かし労働の苦しみを味わい、その中から喜びも悲しみも生まれる。都会の人間は首から上だけの思考のみで生きている。でも僕は、指の先から足の先まで、体すべてで生きている人間を描きたかった。詰め込まれた知識ばかりの人間と、生きる力としての知恵を持った人間と、どちらが人間として格が上なのかをね。』

子ども達の知・徳・体の向上の取組を支えるためには、良質の体験を提供しようという考え方が大切だと思います。望ましい生活習慣や規範意識、思いやりを身につけさせるために、体験活動の充実が欠かせません。子どもは、いつか親から離れて自立しなければなりません。そのためには、基礎的な学力と一定の体力、苦難を乗り越えられる心が必要です。それらの力を育む体験活動は大変重要です。経験から知恵が生まれます。学校で知識を学んでも、実体験がなければ生かすことができません。その体験活動を提供する場の一つに地域があります。

本校は4・5年生の総合的な学習で「霧多布湿原学習」に取り組んでいます。浜中町の財産でもある霧多布湿原には、夏場には多くの観光客も訪れます。湿原センターの方を講師として、湿原の歴史、自然環境、動植物の生育、環境保全など多くのことを学年に応じて学んでいきます。実際に湿原の中に入り、風の音やにおい、湿原から感じ取る感覚を体いっぱい感じます。湿原について知ること、ふるさとのよさに気づき、発信することで、次の世代へとつないでいく、そんな学びを今、子供たちは取り組んでいるのです。

今年は茶内八幡神社祭がコロナ感染拡大防止のため中止となりましたが、地域の伝統行事でもあり世代を超えて引き継がれていく学校と地域をつなぐ祭典は、子供たちが伝統文化に触れる貴重な体験です。今後も子供たちにとって貴重な体験学習には、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



学芸発表会→学習発表会(年度末)へ
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月の学芸会を中止にすることにしました。中止のお知らせが遅くなり申し訳ありません。ご理解の程、お願い申し上げます。

1日防災学校

例年5月19日頃実施の「茶内防災の日」でしたが、「1日防災学校」として9月4日に行うことができました。



地震想定避難訓練をしました。



教職員による消火訓練をしました。



2年生は「防災カルタ」に親しみました。



3・4年生は、役場防災係の皆様にご協力をいただき、チームごとに「ダンボールベッド」を協力して作ることができました。今回の活動を通して、避難所生活を想像し、ダンボールベッドのよさについて考えることができました。



5・6年生は、消防士の皆様にご協力をいただき、ダミー人形を使って、心臓マッサージの体験をしました。その際に感染症予防に必要な知識も学びました。また、安住養護教諭からは、「RICE処置」の基本を学び、実際に三角巾を使った「圧迫止血」についての実習をしました。

いつ・どこで起こるか分からない災害ですが、友だちや家族を助ける場面に出会うことがあるかもしれません。1日防災学校での学びを生かすことは、もちろん大切です。しかし、それ以上に、日々の授業の中で話をよく聞き、考え、判断し、適切に表現をすることは、災害時に自分の身を守る上でもっとも大切な資質・能力だと考えます。

浜中町学校版 環境ISO認定

茶内小学校における学校版環境ISOの活動は、節電や節水、ゴミの分別、資源物の再利用などを実施しています。児童は、環境委員会を中心としたポスターによる啓発活動を行っています。教職員についても裏紙や封筒の再利用など学校全体で学校版環境ISOに取り組む姿勢がこの度の5回目の認定につながりました。



黒木才穂君(6年生)が児童を代表して、齋藤副町長様から認定証を授与されました。黒木君の挨拶の中では、環境を守る取組として、総合的な学習での学習の大切さをのべました。

自然豊かな浜中町をいつまでも守っていくために、より一層、学校全体で取り組んで参ります。

新体力テストの実施



感染症予防のため、春の体力テストができませんでしたが、コロナ禍における体力の現状を計測するという意味合いからも秋の体力テストを実施しました。本校は、1・6年生、2・5年生、3・4年生と一緒に計測します。

上の学年の子が回数を数えたり、運動の仕方を見せたりしています。10月16日(金)までには、各家庭に計測の結果を通知予定です。前年度の状況と比べ、励ましていただけると運動への意欲が高まりますので、よろしくお願いします。